

喜多方市議会議員定数等に関する検討特別委員会審査報告

本特別委員会は、令和5年12月市議会定例会において、本市議会議員の定数及び報酬のあり方について調査検討を行うために9名の委員をもって設置され、これまでに16回の委員会、視察研修、市民意見交換会を開催し、付託のあった議員の定数及び報酬について慎重に審議を重ねてまいりました。その経過及び結果を会議規則第110条の規定により報告いたします。

1 経 過

令和5年12月8日の第1回委員会において委員長及び副委員長の互選を行い、同年12月25日の第2回委員会において、本特別委員会の設置目的及び調査方針を次のように定め、月に1回程度の開催を目途に進めることといたしました。

- (1) 設置目的 喜多方市議会議員の定数及び報酬について調査検討する。
- (2) 調査方針 本委員会は、設置目的にある各事項について調査検討し、必要に応じて資料の提出、関係者の出席を求め、説明及び聴取を行う。

調査検討に当たっては、本市議会基本条例に基づき、行政改革の視点だけでなく、人口、面積等の地域要件、財政力及び市の事業課題を考慮しながら、県内各市及び全国の類似市との比較及び市政の現状等を十分に考慮することを踏まえ、現状の分析及び今後の動向等の様々な角度から、調査検討を重ねてまいりました。

この間、令和6年9月市議会定例会及び令和7年3月市議会定例会の二回にわたり、本特別委員会の検討経過について中間報告を行うとともに、令和7年1月には新潟県村上市議会における議員定数見直しの経過等について視察を行いました。

また、令和7年6月には市内6会場（喜多方市役所、松山公民館、熱塩加納公民館、塩川ふるさと会館、山都公民館、高郷公民館）において、「議員定数等を考える市民意見交換会」を開催し、市民の方々から議員定数等に関する様々なご意見をいただきました。それらのご意見は、その後の特別委員会における審議に大変参考となるものでした。

令和7年8月5日開催の第15回委員会においては、本特別委員会としての合意形成に向けて、これまでの調査検討を踏まえた意見の調整を行い、議員定数及び報酬に関する意見の集約を図りましたが、全会一致での合意に至らなかったため、全委員了承のもと、委員会案の決定方法を多数決によるものとしました。

さらに、令和7年8月18日開催の第16回委員会において、審査報告書の最終検討整理を行い、本特別委員会の調査検討を終了いたしました。

2 結 果

(1) 議員定数について

議員の定数については、議会活動並びに議会の機能と役割を確保する観点から検討してまいりましたが、各委員からは現状を維持すべきとする意見と、現在の定数を削減すべきとする意見が示されました。

現状を維持すべきとする意見の中には、市全体の均衡ある発展と市民の多様な声を市政に反映するためには定数を削減すべきではないとする意見、市民との意見交換会の結果も踏まえて現在の定数が適当であるとする意見、常任委員会の構成比率から現状を維持すべきとする意見などがありました。

また、定数を削減すべきとする意見の中には、人口減少の進行に伴い削減すべきとする意見、市の財政状況を鑑みて削減すべきとする意見、特別委員会設置の経緯から削減すべきとする意見などがありました。

これらの様々な意見を整理し、合意形成に向けた協議により意見の集約を図りましたが、統一案の一致を見ることができなかつたため、現状維持の22名の案、議員定数を2名削減し20名とする案の2案により採決を行いました。その結果、両案は同数となりましたが、喜多方市議会委員会条例第17条第1項の規定に基づき、委員長の決するところにより、議員定数を2名削減し20名とする案を決定いたしました。

(2) 議員報酬について

議員の報酬については、市民の負託に応える議員活動への対価であることを基本とする観点から検討してまいりましたが、各委員からは現状を維持すべきとする意見と、報酬を増額すべきとする意見が示されました。

現状を維持すべきとする意見の中には、市の財政状況を鑑みて現状を維持すべきとする意見、現状維持だが将来的には増額すべきとする意見、現状維持だが報酬以外の面で待遇改善を図るべきとする意見、政府が目標とする最低賃金の引上げなど全体の状況を見守るべきとする意見などがありました。

また、報酬を増額すべきとする意見の中には、若い世代が立候補しやすい環境づくりのために増額すべきとする意見、現在の社会情勢や経済状況を鑑みて増額すべきとする意見などがありました。

これらの様々な意見を整理し、合意形成に向けた協議により意見の集約を図りましたが、統一案の一致を見ることができなかつたため、現状維持の案、報酬を増額する案の2案について採決した結果、議員報酬は現状維持とする案を決定いたしました。

以上報告いたします。

令和7年9月4日

喜多方市議会議員定数等に関する
検討特別委員会委員長 齋藤 勘一郎

議長 伊藤 弘明 殿